

今月のトピックス：「香港国家安全維持法」

7月1日以降の香港

香港は、ニューヨークやロンドンに続く「国際金融センター」として非常に有名で、多くの日本人も香港で資産運用を行っています。

ですが、7月1日に「香港国家安全維持法」が施行されると、香港の成長を後押ししてきた「一国二制度」が崩壊するとの懸念からシンガポール等への資産の流出が始まりました。

国際金融センターの順位も6位まで下がってきており、現在は新型コロナで香港に留まっている人間も、新型コロナが収まってくると海外に流出すると思われます。

香港に進出していた企業も撤退や規模の縮小が始まっています。

香港ドルのリスク

香港の通貨は香港ドル（HKD）です。

この香港ドルというのは、米ドルに連動している珍しい通貨です。

これを「ドルペック」といいますが、今後のアメリカの動きにより、このドルペックが廃止されることも十分考えられます。

そうなると、香港ドルは大暴落の危険性もありますから香港に資産のある方は、アメリカの出方に注意しなければいけません。

これを機会にアジアだけではなく世界に目を広げた資産運用をおすすめします。

香港ドルで運用している方、HSBC銀行等に資産のある方で不安を感じている方はお気軽にご相談くださいませ。

著者

日本FP協会 CFP®
厚生労働省 1級FP技能士
日本商工会議所 簿記1級
元 敦賀短期大学 非常勤講師

川淵ゆかり



オンライン相談やっています。

おしらせ

テイナーズ株式会社
(文化人専門プロダクション)
に所属しました。

今後も「人生100年」の
乗り切り方のヒントを
多くの方に広げていきたいと
思います。



お問い合わせ

<https://yukarik-fp.jimdo.com/>



川淵ゆかり お問い合わせ

検索